

## 子育ての心配事に「生ポリオワクチンの安全性」

～女性口コミサイトのアンケート調査で明らかに～

### 1. いまの最大の心配事

#### 原発事故、子どもの発育、生ポリオワクチンの安全性

- 株式会社ベネッセコーポレーションが運営する日本最大級の女性口コミサイト「ウイメンズパーク( <http://women.benesse.ne.jp> )」にて行われた会員向けアンケート調査によると、1歳未満の子どもを持つ母親(有効回答数:1,001)が「子育てを行なっていく上で、いま心配・不安なこと」として、「原発事故の影響」、「子どもの発育」、「生ポリオワクチンの安全性」という3つの課題が、「子ども手当の存続」や「保育園の確保」などの他の子育て関連の課題をおさえて上位に入った。
- 「生ポリオワクチンの安全性」を最大の心配事とした母親は全体の14.4%であり、子どもの発育(21.5%)、原発事故(21.2%)に次ぐ3位。「生ポリオワクチンの安全性」を2番目の心配事とした母親は17.0%で最大。3番目とした母親は12.6%で、仕事の再開・継続(15.4%)に次いで2位。
- 全体として、回答を行った母親の44.0%が「子育てを行なっていく上で、いま心配・不安なこと」上位3つのうちのひとつとして、国が定める定期接種ワクチンとして現在導入されている生ポリオワクチンの安全性への不安を挙げた。

#### 「子育てを行なっていく上で、いま心配・不安なこと」 (人)

1位	原発事故の影響	477
2位	子どもの発育	453
3位	生ポリオワクチンの安全性	440
4位	子ども手当の存続	350
5位	保育園の確保	341
6位	仕事(就業機会)の再開継続	341
7位	インフルエンザ対策	333
8位	特にない	152
9位	その他	116

(各選択肢より上位3つを重複回答、n=1,001)

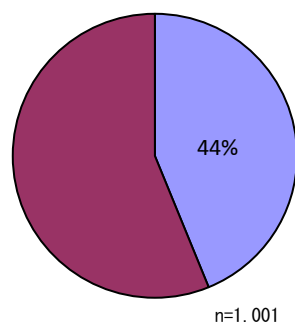
- ### 2. 18.9%が現在実施中のポリオワクチン予防接種を見送り この秋の接種者は半数以下に

## 【報道発表資料】

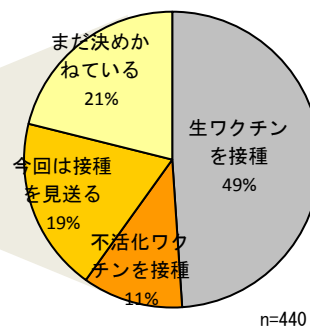
- 生ポリオワクチンの問題を心配事のひとつとして挙げた 440 人の母親のうち、「現在、各自治体で実施されている秋の定期接種（生ワクチン）を受ける / 受けた」と回答した割合は 48.9%となった。
- 残りの 51.1%の内訳は、依然迷っている（21.1%）、この秋の定期接種は見送る判断を行なった（18.9%）、不活化ワクチンを自己負担で接種した（11.1%）の順となり、多くの母親が困難な選択を迫られる心理的負担に直面している現実が明らかになかった。
- 各自治体が現在実施している生ワクチンの定期接種を「今回は見送ることにした」と回答した母親はすでに 18.9%に上っており、まだ決めかねている母親の存在を考慮すると、今後接種率\*の低下がさらに進む可能性も示唆される。

\* 厚生労働省は、「ポリオ生ワクチンの接種者数の推移（平成 21 年度から平成 23 年度（4 月～6 月分）」（2011 年 10 月 14 日）の中で、平成 23 年 4 月～6 月の全国での接種者数（有効回答数：1,743 市区町村のうち 1,607 市区町村）として、平成 22 年度比マイナス 17.5%との調査結果を公表している。同時期の具体的な接種率については未公表。

生ポリオワクチンの安全性を  
上位3つのひとつに挙げた母親の割合



現在実施中の定期接種  
（生ワクチン）への対応



### 3. 不活化ワクチン導入時期について正しく理解している母親は 4 人に 1 人

- 厚生労働省は不活化ワクチンの導入時期を「早くても、2012 年度（平成 24 年度）の終わり頃」または「平成 24 年度中」と公表している一方、この導入時期について正しく理解している母親は、440 人のうち 4 人に 1 人（24.5%）のみであった。

#### <アンケート実施概要>

- 対象者： 1 歳未満の子どもを持つ母親
- 回収期間： 2011 年 10 月 7 日～12 日
- 回収サンプル数： 1,001 人
- 調査会社： 株式会社ベネッセコーポレーション

《本件に関するお問い合わせ先》

ポリオの会 責任者 小山万里子

[koyama@mrg.biglobe.ne.jp](mailto:koyama@mrg.biglobe.ne.jp) 090-2420-3477